

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)

「I.W.A.T.E. 1 in 3 女性リーダー職研究者倍増プラン」

キックオフシンポジウム「I.W.A.T.E.で増やす女性リーダー職研究者」



お茶の水女子大学 申 琪榮 教授

ご講演の後、「地方国立大学における女性リーダー職研究者育成の課題」をテーマに、海妻副学長をコーディネーターとし、パネラーに特別講演講師 申教授、岩手県副知事 八重樫幸治氏、岩手県工業技術センター連携コーディネーター 小浜恵子氏、小川学長を迎えてパネルディスカッションを行いました。「いわて」における多様な分野での女性活躍推進、地域における女性リーダーの輩出、研究職・技術職の女性増加などを巡る課題について意見交換を行うとともに、その解決に向けた本学が果たす役割と今後の展開方向について、会場からの質疑を交えながら議論しました。

2023年3月13日、岩手大学においてキックオフシンポジウム「I.W.A.T.E.で増やす女性リーダー職研究者」をハイブリット型(会場参加とオンライン参加)で開催しました。講師としてお茶の水女子大学グローバル女性リーダー育成研究機構ジェンダー研究所の申 琪榮 教授より、「グローバルな視点からみたダイバーシティ推進と女性リーダー育成の課題」をお話いただきました。日本・地方におけるダイバーシティ推進の意義、意思決定の場への女性参加や女性リーダー輩出の重要性、国立大学の「次世代の『市民』やグローバルに活躍する多様な『リーダー』を育てる場」としての意義について、具体的資料とともに述べられ、締め括りに国立大学の果たす役割と進むべき方向性を提示してご講演を終えられました。



パネルディスカッションの様子

小川岩手大学学長が

内閣府「輝く女性を応援する男性リーダーの会」行動宣言に賛同しました

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言への賛同は、女性活躍推進の取組が小川学長の自らの強い意思によるものであることを確認し、多様で心豊かな世界の創造のため積極的に寄与すべく、改めて意思表示を行うものです。本学は、2022年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)の採択を受け、女性活躍・ダイバーシティ推進をさらに進めてまいります。

女性研究者を積極的にリクルート

「女性活躍・ダイバーシティ採用フェア」



本学の取組を紹介する展示ブースの様子

女性、若手、外国人等の多様な人材を対象に、岩手大学の充実したワーク・ライフ・バランス支援や、インクルーシブな職場環境を紹介するとともに、北東北地域に持たれがちなネガティブなイメージを払拭し、応募促進を図るため「女性活躍・ダイバーシティ採用フェア」を全国各地で開催しています。

●2022年度開催

3月15日(水)

量子ムービーサイエンスフェスタ企画展示会
(つくば国際会議場)

3月22日(水)～24日(金)

日本化学会付設展示会

(東京理科大学野田キャンパス)

2022年度は300人弱の女性研究者女性院生等に資料等を配布し、本学の説明を行いました。

●2023年度開催

5月13日(土)～14日(日)

日本栄養・食糧学会大会展示会

(札幌市コンベンションホール)

本学の支援制度について、2日間で60人程に説明を行い、150人以上の女性研究者、女性大学院生に資料を配布しました。

女性研究者の上位職登用制度に強く関心を持つ女性研究者や将来の就職先として支援制度について詳しく訪ねる女性大学院生など、研究等を継続するために働きやすい環境を求めている声を聞くことができました。また、本学と同様の取組を行っているものの、目標達成が難しいという女性研究者との共感、課題の共有等、情報交換も行えた有意義なフェアとなりました。



展示ブースを訪れた女性大学院生に説明をする様子(日本栄養・食糧学会)

8月24日(木)～26日(土)

日本食品科学工学会第70回記念大会
(京都女子大学)

3日間で50人以上の方がブースを訪れ、本学の取組に興味を持っていただきました。また、300人以上の女性研究者、女性大学院生に資料を配付することができました。



説明をする様子(日本食品科学工学会)



展示ブースの様子(日本食品科学工学会)

女性研究者支援制度紹介

「女性活躍変形バイアウト制度」

「女性活躍変形バイアウト制度」は、育児介護等で研究時間が不足しがちな女性研究者ほど、研究業績の蓄積が遅れがちなため外部資金獲得に困難を抱え、バイアウトをおこなうことができない、という矛盾を解消するため、一定期間のバイアウト費用を女性研究者に支給するものです。将来的に外部資金獲得能力を高めるための、研究時間確保と業務蓄積を行ってまいります。2022年度(11～3月)は、5名の女性研究者により研究支援員等の雇用等の申請があり採択されました。延べ約700時間分のバイアウトが実施されています。

女性研究者支援制度紹介

「女性研究者グローバルキャリア支援海外派遣制度」

この海外派遣制度は、女性研究者の国際的な研究ネットワークへの参加および研究発表のための支援を行い、研究業績の蓄積を促進させることにより、昇任の加速をはかる制度です。子どもの学齢や介護の有無などライフイベントの事情に、渡航機関を左右されがちな女性研究者の実情に即して、渡航期間別に採択者数の枠をもうけるのではなく各年度における補助予算の総額枠のみ設定して、長期渡航者と短期渡航者の採択数を柔軟に組み合わせることとしています。

2022年度(11～3月)は、女性研究者2名より、制度への申請があり採択されました。アメリカ・韓国への短期渡航費用の支援を行っています。

今後の主催事業のご案内

女性活躍・ダイバーシティ推進採用フェア開催

日本機械学会 2023年度 年次大会・企業展示

日 時：2023年9月4日(日)～6日(水)
9月4日(月)9:00～17:00 9月5日(火)9:00～17:00 9月6日(水)9:00～15:00
会 場：東京都立大学(南大沢キャンパス)

第22回情報科学技術フォーラム ランチョンセミナー

日 時：9月6日(水) 12:10-13:00(50分)
会 場：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス B3棟117
定 員：60名
説明者：国立大学法人 岩手大学 副学長/ダイバーシティ推進室長 海妻 径子

女性活躍・ダイバーシティ推進セミナー等開催

PI力向上研修

「知っておきたい! 大学における性被害・性暴力への対応方法」

日 時：2023年9月1日(金) 10:00～12:00
開催方法：集合及びオンライン(Zoomウェビナー)
集合会場：岩手大学教育学部1号館北桐ホール
講 師：島根大学松江保健管理センター センター長・副学長(ダイバーシティ推進担当)
河野 美江 先生
「大学における性暴力への対応 ～予防から被害者支援まで～」
NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご理事 田口 奈緒 先生
「学校における性暴力対応 ～危機対応手引き作成の経験から～」



PI力向上研修・研究活動・ネットワーク形成

「北東北女性研究者研究・交流フェア」開催

日 時：2023年9月29日(金) 10:30～16:00
会 場：岩手大学復興祈念「銀河ホール」及び「ものづくり協創工房」
開催方法：講演(ハイブリット開催) 研究・交流(会場開催)

【プログラム】

10:30～10:45 オープニングセレモニー
10:45～11:55 講演「女性リーダー育成に立ちはだかる壁を破る」
講師 東京家政学院大学 特任教授 野村 浩子 氏
12:00～13:30 ランチタイム交流会
13:50～15:00 研究ポスターセッション(コアタイム①② 各30分)
15:10～16:00 クロージングセレモニー



申込フォーム

